

インドネシアのパサール (市場)

海外に行った際にその国のローカルな市場やスーパーを訪れるというのは旅を楽しむ手段として定着した感があります。インドネシアの市場と言えば、思い浮かぶのは、ローカルの食料品市場や、道路に沿って続く露店にお土産品を並べる市場でしょう。インドネシアにはその他にも様々な形態の市場があります。

今回はジョグジャカルタにある伝統的な市場「パサール・ブリンハルジョ」、ジャカルタにある石の市場「パサール・ラワブニン」、手芸用品の市場「パサール・マイェスティック」をご紹介します。(インドネシア語で「パサール」PASAR とは「市場」を意味します。)

■パサール・ブリンハルジョ

ジョグジャカルタで最も古く、伝統のある市場。1758年に当時の王、ハメンクブウォノ (Sultan Hamengkubuwono) 1世によって、ジョグジャカルタの経済発展のために作られて以降、幾度かの拡張工事を繰り返してはいますが、未だに当時の形が保たれています。

売られているものはバティック (インドネシアの伝統的な蠟けつ染め) などの衣料品の他、日用品や中古品など、値段や種類、価格も様々で、値段交渉も可能です。

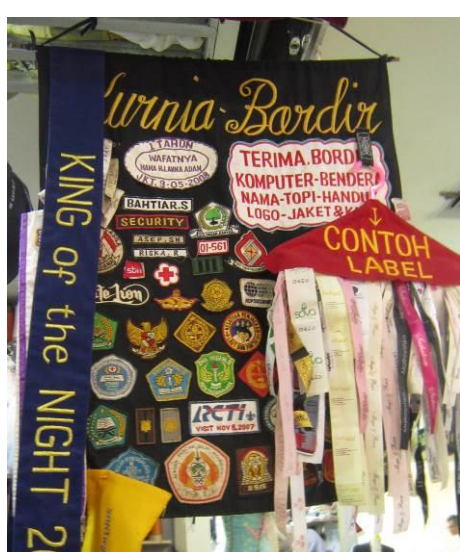
■パサール ラワブニン (ジャカルタ・ジェムズ・センター)

パジャティヌガラ駅の前にあるパワーストーンや宝石、ガラス製のアクセサリなどを扱う店が集まった巨大市場です。

加工されたパワーストーンや宝石を購入することができ、未加工品でも、その場で加工してもらえます。またアクセサリのパーツも様々なものが売られているので、色々と組み合わせるのも面白いかもしれません。フロア全体に様々な石の専門店が並んでいる様子に圧倒されます。



石市場の売り場



ワッペン・ラベルの見本

■パサール・マイェスティック

手芸用品や様々な生地の特売店が集まった市場です。バティックやイカット (インドネシアの伝統的な緋) を買うことができますし、テーラーもあり、買った布を、その場でオーダーメイドの服もでき、手直しも可能です。

また見本を持参すれば、オリジナルのワッペンやラベルの制作もできます。手芸や物作りが好きな方でなくとも色々な布や制作風景など見ているだけでも楽しめます。

このようにインドネシアの市場では同種の店が集まって大きな市場を形成しているため、目的に合った市場の中でのいろいろな店を見て回り、買い物を済ませることができます。材料の購入から加工までを安い値段でできてしまう点も、面白いところでしょう。観光に訪れた際に、市場まで足を運び、一風変わったオリジナルグッズを作ってみるのも面白いかもしれません。

★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク (PT. JC内) 概要★

所在地 : Rukan Tanjung Mas Raya Blok B-1 No. 29

Jl. Raya Lenteng Agung, Tanjung Barat, Jagakarsa,
Jakarta Selatan 12530 INDONESIA

デスク担当者 : PT. JC 武井 和宏 (たけい かずひろ)

対象エリア : インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています(岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託)。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」[利用の手引き](#)をご覧ください。また、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#)(電話 086-226-7365)までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応しておりません。